

福岡県剣道連盟 居合道だより

第040号 平成21年11月1日発行
発行 (社)福岡県剣道連盟居合部
<http://iai.riai.info/>
発行人 迫野 康雄
〒807-0842 北九州市八幡西区永犬丸東町3-16-13
Tel:093-612-1512
編集人 上田 武尚
〒800-0201 北九州市小倉南区上吉田2-2-16
Tel:093-473-7323

はじめに

今年度の第44回全日本居合道大会が10月24日長崎県島原市の復興アリーナにて盛会に開催された。

本県の選手も6月の県大会の各段優勝者に決定し、この日に向けて練成、稽古を積んで望んだ。七段国方選手は1回戦で2-1僅差で敗退、六段馬場選手は3回戦まで健闘したが惜しくも敗退、五段の上田選手は五段の出場選手47人中で最高年齢の65歳でしたが、年齢を感じさせない演武で3回戦まで進んだが惜しくも敗退、それぞれの選手は持てる力を充分発揮し頑張ったが今一步およばなかった。

今大会の五段の部の出場選手の年齢を見ていると、20代3名、30代14名、40代9名、50代18名、60代3名の計47名でその中に女性が3名含まれていた。他の武道に比べていかに居合の取組み年齢が高齢であるかが判る。最近では女性や外国人の進出や大学の居合道部の活動、活躍も目覚しいがまだまだ居合道が世の中に知られていないからであろう。

居合は伝統や心身修養の練磨に重きをおき、体力的にはあまりハードでなく、老若男女年齢に関係無くはじめられる。またその気になって頑張れば全国大会出場も夢ではない。

そこで我々はもう少し居合道を世の中に啓蒙宣伝し、多くの方々に居合道の良さを知って頂き更なる発展を目指そう。

主な出来事

10/4 第47回高知居合道大会

第22回高知居合道女子大会

高知県南国市

約600名の剣士が集まり、熱い戦いが開催され、福岡県からも17名が参戦した。

無段の部	1名
二段の部	1名
女子二段の部	1名
三段の部	1名
四段の部	1名
五段の部	2名
六段の部	2名
七段個人演武	6名
八段模範演武	2名

大会結果

女子二段の部	磯野美佐緒剣士	二位入賞
四段の部	荒木正亨剣士	二位入賞
七段個人演武	小川内泰生錬士	優秀賞受賞



大会結果

団体の部

- 優勝 長崎県
- 二位 神奈川県
- 三位 新潟県

個人の部

- 七段優勝 森島一機（神奈川県）
- 二位 月見一博（長崎県）
- 六段優勝 山崎卓司（静岡県）
- 二位 高木志伸（長崎県）
- 五段優勝 廣瀬正祐（長崎県）
- 二位 今井恒之（新潟県）

指定技（一回戦～四回戦まで）

古流二本（自由）の後

全剣連居合二本目『後』

六本目『諸手突き』

十本目『四方切り』

準決勝・決勝戦指定技

古流二本（自由）の後

全剣連居合三本目『受け流し』

七本目『三方切り』

十一本目『総切り』



11・12月の予定

- 11/7 教士称号筆記試験 福岡市
- 11/13 居合道段位審査会（6・7段） 東京
- 12/13 居合道部練成会 粕谷ドーム